

## ウィズコロナ下での博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館長 小澤 健史

新型コロナウイルスの影響で2月末から約3か月間、臨時休館させていただきました。5月26日付けで再開館し4か月が経とうとしていますが、この間に当館の様子は一変しました。受付での消毒、検温、連絡先記入のお願いは当たり前ものになりました。7月21日から再開したものづくり工房での体験活動は、人数を減らしての事前予約制です。講堂・講座室については、他館の様子を参考にして座席数を大幅に減らし、9月1日からようやく再開したところです。

これらのように、当館では、お客様への新型コロナウイルス感染を防ぐため、徹底した水際作戦と3密回避に取り組んでいます。当然、職員に対しても、体調不良の場合の出勤自粛や、会議の際の人数制限、窓開け実施など、厳しい要求をしています。こうしたことから、当館を御利用いただいている友の会の皆様にも、御不便、御面倒をおかけしており、本当に申し訳なく思います。どうか御協力の程、よろしく願いいたします。

さて、再開館から8月末までの入館者数は約7,000人で、昨年度と比べて約1/3でした。この先、学校単位での来館は、昨年度の約100校から1/4程度になりそうです。もちろん、外出を控える動きや学校の臨時休校の影響が大きいことは分かっていますが、お客様の姿が見えない、子供の声がしない博物館はやはり寂しいです。3密を避けながらも、多くの皆様に当館で楽しんでもらいたいと思います。そのためには、まずは、当館そのものが元気を見せること。来月からは、企画展「新収集品展2018・2019」も始まります。元気に営業中であることをアピールしていきたいと思います。

他方、「新しい日常」の中で博物館を楽しんでいただくため、並行して、足りないところを補っていくことも重要と考えています。例えば、動画の配信などオンラインでの情報提供を充実し、分かりやすく案内することも課題の一つと考えています。家庭で楽しんだ後、実際に来館していただき、博物館という空間で実物を見て感動していただく。リアルな体験をしていただく。今後、臨時休館があれば尚更ですが、そうでなくてもこうした楽しみ方が普通になってくるかも知れません。

再開館の直後にテレビ埼玉の取材を受け「この機会に、地域にある博物館の良さを知って、足を運んでいただきたい」旨をお話しさせていただきました。コロナ禍をきっかけとして、「地域とともにある博物館」としての役割は一層重要になると思います。新型コロナウイルスと上手に付き合いながら、地域に愛される博物館を目指してまいります。友の会の皆様には、大変御不便をおかけしますが、引き続き「埼玉県立歴史と民俗の博物館」を応援していただければ幸いです。

## 幻の特別展「武蔵国の旗本」

ネット（博物館のホームページ）から内容をご覧ください

埼玉県立歴史と民俗の博物館で今年3月から5月まで開催予定だった特別展「武蔵国の旗本」はご存知のように新型コロナウイルス感染症の関係で、博物館自体が閉館されてしまったため幻の展示になってしまいました。大変面白い企画だったので残念なのですが、この展示の概要は博物館発行の『博物館ガイド』の42号に内容紹介と一部の展示物の図版が掲載されています。

ただしこの『博物館ガイド』は印刷物ではなく、博物館のホームページからダウンロードしてパソコンなどの画面で表示するPDFファイルという電子文書でだけ閲覧できるようになっています。ご覧になっていない方はぜひご覧ください。

なお、これまで発行された号も含めて、平成18年度の1号から今回の42号まですべての『博物館ガイド』をこのPDF版で閲覧することができます。

図録『武蔵国の旗本』（1100円）は販売されていて、現在、在庫があり、博物館で購入できることになっています。



本誌はネット配信のみとなっています。紙での配布は行っていませんのでご了承ください。

埼玉県立歴史と民俗の博物館 THE MUSEUM Vol.14-3 第42号 Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

特別展 武蔵国の旗本 3月20日(金)～5月10日(日)

江戸時代、将軍と主従関係をむすび、1万石未満、そして将軍に御目見を許された武家を旗本と呼びました。彼らは、徳川幕府の直属の家臣団で、江戸時代後期には、おおよそ5,200家の旗本家がありました。徳川家康の関東入国以降、武蔵国は将軍のお膝元として旗本たちの所領(知行所)が置かれていきます。現在の埼玉県域にあたる北武蔵では、なんと3分の1以上は旗本知行所だったのです。本展では、武蔵国に数多い旗本について、旗本家や地域に伝わるゆかりの品々から、江戸時代の旗本の実態に迫ります。

## 友の会の今後の活動について——理事会より

9月24日に久しぶりの友の会理事会を開き、今後の活動などについて話し合いました。国・県で新型コロナウイルス感染症対策が行われている現状では友の会の完全な活動ができません。当面、動けるところからということで「プレミアム講座」「古道探索倶楽部」の活動を開始、中止した岩槻見学会も実施いたします（今号に案内掲載）。その他については12月にも「JUNO」を発行してお知らせいたします。

## ◆第33回古道を訪ねて 日光道中その6◆

2020(令和2年)年11月28日(土)に「古道探索倶楽部」

《日時》2020年(令和2年)11月28日(土) 集合9時30分～解散15時30分(予定)

《集合》東武伊勢崎線東武動物公園駅改札口周辺 9:30

《コース》東武伊勢崎線東武動物公園駅 → 浅間神社 → 宝性院 → 高野の渡し → 永福寺 → 下高野一里塚・大島有隣遺跡 → 神宮寺 → 岸本家 → 東武日光線幸手駅解散

《費用》資料代等・参加費 500円

《その他》歩行距離は約9km、史跡巡りを入れると10km少々です。お弁当と飲物は必ず事前に御用願います。

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》11月20日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて 友の会ホームページ申込可

\*新シリーズ日光道中歴史散策は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅より栗橋駅までを8回シリーズで、お届けしています。

\*参加費用は、300円から500円に変更させていただきました。

# 新収集品展より

～2018年と2019年に収集した“県民の宝”～

博物館の基礎になる多くの収蔵品は、県民共有の大切な財産として収集・保存・管理・活用され、次世代に継承されます。2018～'19年度に多数の方のご厚意とご協力により新たに「埼玉県民の宝」となった資料が、10月10日から11月23日まで企画展「新収集品展」にてお披露目されます。この企画展に関連した講座です。

コロナ禍の中で制約のある状況ですが、今年度初めてのプレミアム講座を企画展の展示資料についてのお話から始めます。応募要項のとおり、今までのプレミアム講座とは異なる要領で開催しますが、会員各位のご協力をよろしくお願ひします。

講師の新井さんは、日本中世史がご専門。一昨年7月の当講座では、古文書の楽しみ方入門のお話をいただきました。現在は資料調査・活用担当としてご尽力されています。

講師 **新井 浩文 氏** 当館学芸主幹

日時 2020年 11月18日(水) 13:30～14:30

(開場: 13時)

場所 当館講堂 東武アーバンパークライン(野田線) 大宮公園駅下車徒歩5分

参加費用 無料

ご参加のお申し込みは、**往復ハガキ**で、開催日、イベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記。返信ハガキ宛名面への住所・氏名もお忘れなく。事務処理上、締切を早めます。11月4日(水)までに、下記の宛先へ会員ご本人限定でお願いします。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

定員は先着45名とさせていただきます。当日は、受付番号記入済みの返信ハガキをお持ちの上、マスク着用等入館のルールに従ってご来場ください。

\*\*「友の会ホームページ」からの募集は今回は行いません。\*\*

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

# 人形博物館と人形工房見学

さいたま市岩槻区に、人形をテーマとした日本初の公立博物館がオープンしました。開館第一回目の特別展として『こどものかたち—創作人形の力展』が開催しています。

この企画展は、昭和初期の人形芸術運動で人形の価値を高めるために尽力した平田郷陽(人間国宝)と野口光彦の二人の作家を中心に、子供や親子の一瞬の表情や仕草を捉えた作品を紹介しています。また、常設展では、人形作り工程を丁寧に展示してあります。人形に興味のある方は必見です。



## 見学予定

岩槻駅(13時00分出発) ⇒ 愛宕神社 ⇒ 鈴木人形工房  
⇒ 時の鐘 ⇒ 人形博物館・にぎわい交流館 ⇒ 岩槻駅

\* 参加者は、マスク着用厳守願います。

\* 希望者には、ツアー終了後、駅周辺の散策を60分程度行います。

**日時** 令和2年11月19日(木) 雨天決行

**集合場所** 岩槻駅(東武アーバンパークライン)改札口

**集合時間** 午後1時00分 (時間厳守をお願いいたします)

**参加費** 500円(入館料など) **当日集金**

## ◎御参加申込みは

- ・ 締切期日 11月13日(金) ・ 定員 20名(先着順とさせていただきます)
- ・ 会員限定ですが、ご家族・ご友人は御参加できます。
- ・ 申込方法 往復ハガキにイベント名・会員番号・氏名・住所・年齢(人形博物館に提出する参加者名簿に年齢記載が必要)・電話番号(携帯番号も)を明記し、返信面にも住所・氏名を記入の上、下記宛先までお送り下さい。
- ・ 宛名 〒330-0803さいたま市大宮区高鼻町4-219埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会
- ・ 見学会に関するお問合せ連絡先 048-756-5634 事務局 犬走 東道
- \* 定員(20名)を越えた場合はお断りすることもあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会